



水の館プラネタリウム



プラネタリウム、下記イベントのお問い合わせ：
手賀沼親水広場 水の館 TEL.04-7184-0555 FAX.04-7185-5869

★定期上映 10月15日(土)～1月15日(日)

星空解説「今夜、なにがみえるかな」2022 秋

日没が日ごとに早くなるのを感じる秋。食欲や紅葉などでも季節の移ろいを感じられますが、夜空の星々も季節ごとに姿を変えます。秋の空には勇壮なペガサスが飛翔し、ギリシャの神々による大冒険も描かれています。そんな秋の夜空に見られる星々を紹介します。

テーマ番組

「秋の星空を見上げて～太古の人が見た星～」

星座がつくられた頃、星はいまよりずっと身近でした。それらの星は、いまも変わらず夜空で輝いています。恵みの雨をもたらすと信じられた星。実際の夜空を一緒に見上げてみませんか？

☆土日祝日の上映時刻	テーマ番組 10:00～／13:00～／15:00～ 星空解説 11:00～／14:00～／16:00～ テーマ番組、星空解説ともに約20分間
------------	---

☆平日のみ団体上映を受付。(2日前までに要予約。ただし、休館日を除く)
・定員：各回先着50名(上映1時間前から発券)
・費用：高校生以上100円(中学生以下無料)
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用・手指の消毒・連絡先の記入などにご協力を頂いております。

★星空コンサート JBF2022 プレイベント 「ボサノヴァ星空コンサート」

日時：10月29日(土) ①13:00～
②15:00～
歌・演奏 鈴木美也子
解説 駒井仁南子

※開演1時間前から発券
費用300円
定員先着50名
当日の定期上映はなし

★星空たんけん観望会 星空の見方を学ぶ講座と星空観望会

「月・木星・土星と秋の星空を観察しよう！」

日時：11月19日(土)
17:15～19:30(受付開始17:00)
費用100円(中学生以下無料)
持物 懐中電灯(赤色灯推奨)
定員50名(小学生以下保護者同伴)
申込み 11/2～11/18までに水の館



手賀沼周辺のイベント情報

◆日本最大級の鳥の祭典

ジャパンバードフェスティバル(JBF)開催！



11月5日(土) 6日(日)

○全日本鳥フォトコンテスト

- ・作品展(アビスタ2階ミニホール)
- ・講演会(アビクオーレ3階アビホール) 11月5日(土) 10:30～11:30

○鳥学講座「江戸の鳥の美食学ー環境破壊や乱獲がもたらした野鳥食文化の衰退ー」

講師：菅 豊 東京大学東洋文化研究所教授
(アビクオーレ3階アビホール) 11月5日(土) 13:30～15:00

○お楽しみスタンプラリー

感染症対策のため、今回はスマートフォン・タブレット端末向け我孫子市観光アプリ「あびこ巡り」を使用する「デジタルスタンプラリー」となります。アプリをダウンロードしてお楽しみください。

★最新の情報はJBFオフィシャルホームページをご確認ください。
問い合わせ：JBF実行委員会事務局 我孫子市手賀沼課
(土日祝日を除く8:30～17:00)



App Store



Google play

我孫子インフォメーションセンター
あびこ巡り

◆クリーン手賀沼推進協議会

「遊覧船で手賀沼について学ぼう！」

日時：①12月3日(土) 10:30～13:30
②1月14日(土) 10:30～13:30
※雨天・強風の場合は中止

定員：30人(要事前申込)
場所：ボートセンター小池前集合
対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
費用：無料
申込：①11月17日(木)～12月1日(木)までに
②1月5日(木)～1月12日(木)までに
手賀沼課 Tel.7185-1484

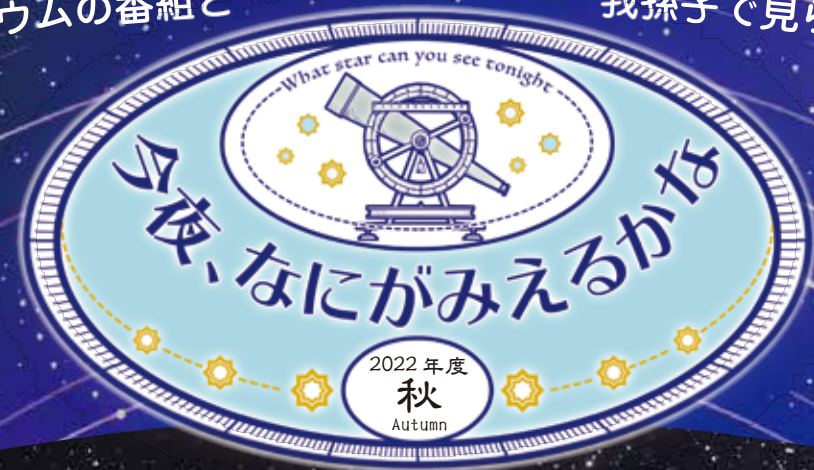
◆JBF プレイベント

日時：10月24日(月)～11月6日(日)
場所：アピシルベ
内容：インスタ映え間違いなし!? “翼ウォール”で
鳥になりきって、JBF2022をみんなで宣伝しよう!

このほか、
環境レンジャー 秋のネイチャーイン(11月19日)
バードフィーダー工作(12月10日) もあります。
詳しくは広報あびこをご確認ください。

水の館プラネタリウムの番組と

我孫子で見られる星座の情報誌



私たちのいる天の川銀河の
隣にある銀河うなあ。
数千億個もの星の大集団うな～。



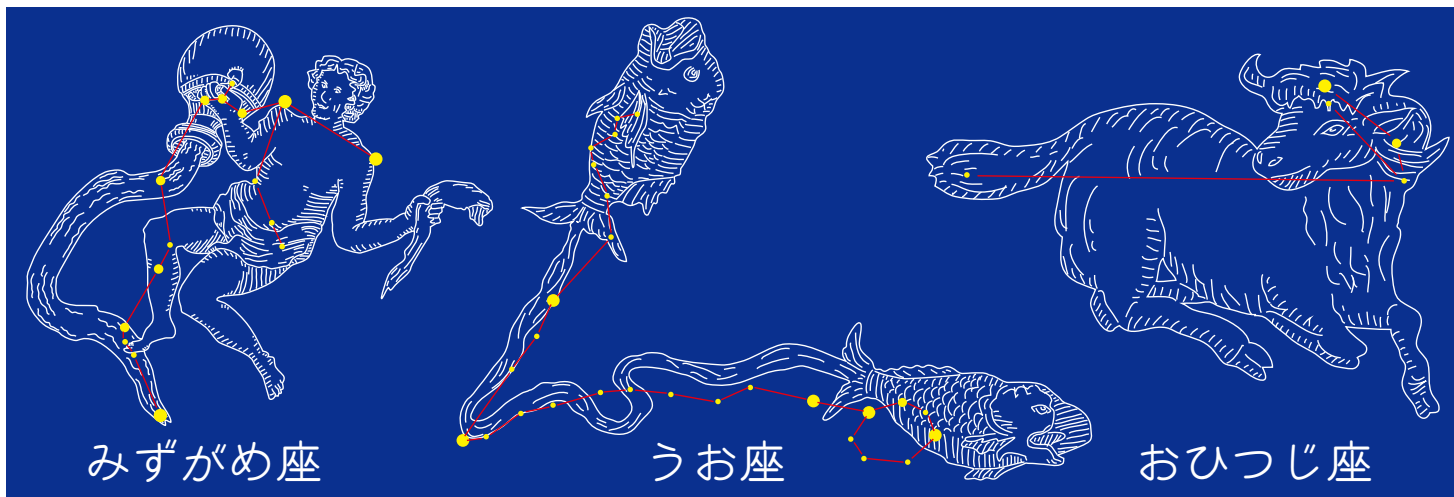
我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎさん

「アンドロメダ銀河」©NASA

アンドロメダ銀河(アンドロメダ大星雲)

星座の物語 秋に見られる黄道12星座

星占いでよく使われる12個の星座は黄道12星座と呼ばれています。黄道とは空での太陽の通り道のこと。この方向にある星座は特に重要であると考えられていました。季節ごとに見やすい星座は移ろっていきます。秋に見えやすい、3つの星座を紹介しましょう。



古代シュメール時代（今から約三千年前）にはすでに知られていた最も古くから伝えられてきた星座のひとつです。みずがめ座の周りには水に関係する星座がいくつかあり、水の源として描かれたとも言われています。みずがめ座は明るい星が少ないため、夜空では見つけにくいかもしれません。

みずがめ座同様、古くからある星座で2匹の魚がリボンでつながれています。この2匹は親子。母が女神アフロディテ、息子がエロスと呼ばれています。怪物に襲われ、慌てて魚に姿を変えて逃げました。その時、離ればなれにならないよう結びつけあったと神話は伝えています。ペガサスの秋の四辺形から探すことができます。

おひつじ座も非常に古くから伝わる星座です。星占いの時、黄道12星座の最初に紹介されます。黄道の始点は春分点から始まりますが、約二千年前に黄道12星座がつくられたころ、この春分点がおひつじ座の場所にあったことから最初に位置づけられました。春分点はその後、場所を変えて今はうお座にあります。

2022 年秋から冬の天文イベント

10月から12月

火星が輝きを増してきます。火星と地球の距離は2年2か月ごとに近くなります。距離が近くなると火星は大きく見え、明るく輝くようになります。12月1日が最接近になるため、それまでどんどん明るくなっていきます。空が暗くなった20時ごろ、東の空に見える赤く輝く星が火星です。今回以上に接近するのは、2031年以降になります。

11月8日 皆既月食

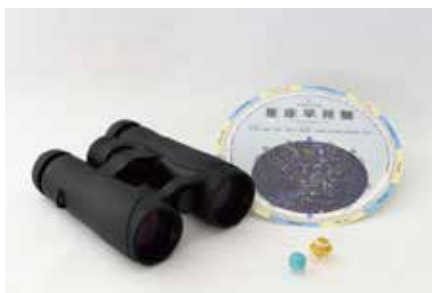
11月8日、我孫子でも皆既月食を見ることができます。皆既月食は地球の影で月が隠れる現象です。月が欠けていくとともに、白く見えていた月が赤銅色に変わっていく様子も興味深く見ることができます。我孫子市近郊では、17時00分から半影食が始まり、19時16分に皆既になります。20時42分に皆既が終了し、22時58分には今回の皆既月食が終了します。

12月14日 ふたご座流星群が極大

12月14日の22時ごろが極大で、1時間に40個程度の流星が見られるかもしれません。時刻が遅くなると月が昇ってくるため流星が見づらくなってきます。流星群は、数日、数時間の幅をもって観察することができます。数日前から数が増え、極大を迎えると減少していきます。ピークだけではなく、折々に空を眺めてみるのがよいでしょう。

星空ギャラリー

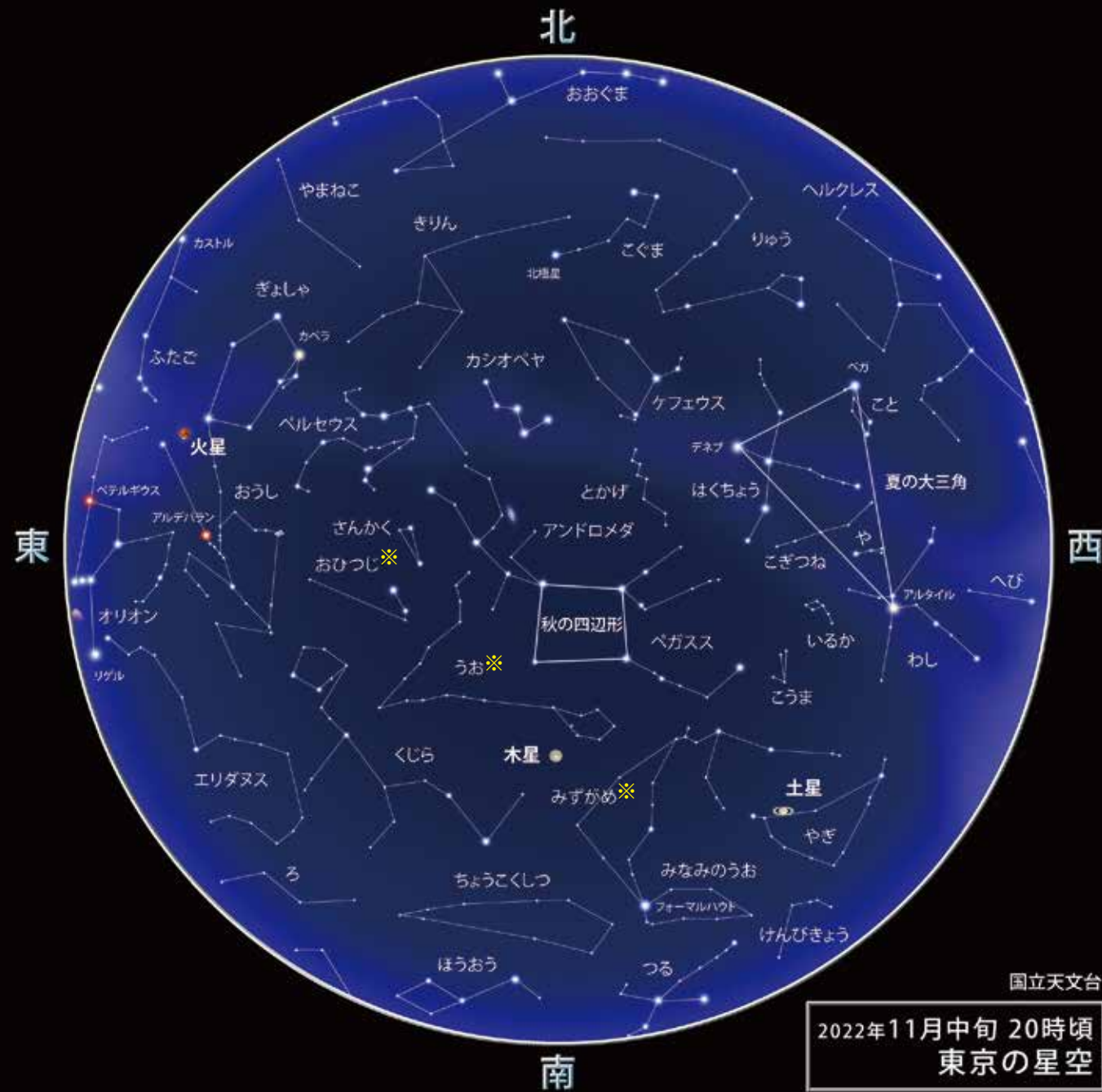
昔から人々はどのように星を眺めてきたのでしょうか。今、私たちはどのように星空を楽しむことができるのでしょうか。星の観察の仕方や11月8日に起こる皆既月食の見え方などを紹介します。



天体観測



古代遺跡に描かれた星座



星空紹介コーナーの星座は※マークが付いています。

天文ニュース

フォボスによる日食

2022年、火星で多くの探査機が活動しています。その一つパーサビアランスが、火星の衛星フォボスが太陽を隠す現象（日食）の撮影に成功しました。地球の衛星「月」とは違っていびつな形をしたフォボスの様子が分かります。火星にはフォボスとダイモスという2つの衛星があります。



フォボスによる月食



皆既月食

星空ミニクイズ

秋、満天の星を見るとアンドロメダ銀河（アンドロメダ大星雲）を見つけることができます。このアンドロメダ銀河（アンドロメダ大星雲）、40億年後にはどうなると予想されているでしょうか。



- ①消えてなくなっている
- ②今の何倍にも星が増えて大きくなる
- ③私たちの銀河と衝突して合体する

答えは水の館3階、プラネタリウム前のスタンプコーナーで説明しています。

2022年度秋のスタンプ

スタンプはプラネタリウムの前にあるよ